

2022年3月16日

報道関係者各位

※2月7日に発信したプレスリリースを3月16日現在の情報に更新しております。

日本・モンゴル外交関係樹立 50 周年記念特別展「邂逅する写真たち――モンゴルの 100 年前と今」

2022年3月17日(木)~5月31日(火)

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、日本・モンゴル外交関係樹立50周年を記念して特別展「邂逅する写真たち――モンゴルの100年前と今」を、2022年3月17日(木)から5月31日(火)まで開催します。



およそ100年前、欧米から多くの探検家たちが中央アジアを越えモンゴルに到達しました。探検家たちは多くの写真を残し現在に伝えています。

100年前のウランバートルは、活仏にして皇帝、ボグド・ハーンが治める「聖なる都」でした。欧米人がウルガと呼んだこの都の中心には、活仏の黄金の宮殿が燦然と輝いていました。市場に行ってみると、騎馬でものを買う人びとの姿が見えます。"エキゾチックな"遊牧民たちの姿も興味深いです。

翻って現代、モンゴルの写真家たちも自らの社会を見つめ、写真で表現するようになりました。モンゴルの首都ウランバートルは、人口160万人を越えるグローバル都市へと変貌を遂げました。首都の新しいシンボルは巨大なチンギス・ハーン像です。首都の中心部には、高層ビル群が林立し、華やかな都市文化が花開いています。その一方で都市の周縁部には、遊牧民の移動式テント、ゲルが密集する「ゲル地区」が広がっています。また、草原も変貌を遂げつつあります。大草原と遊牧民は重要な観光資源です。その一方で、定住化が進んでおり、鉱山開発による環境汚染も懸念されています。こうした現代のモンゴルのリアルを気鋭の写真家B.インジナーシらが写し出します。

100年前の探検家たちが残したモンゴルと現代の写真家がまなざすモンゴル。本展示は、写真をめぐる100年の時空を越えた邂逅ー出逢いーをテーマにしています。きっと新しいモンゴルの姿に出逢えるに違いありません。



展示の見どころ

写真で見る 100 年前と現代のモンゴル――新しいモンゴル像との出逢いが待っている。

■ 過去と現在の邂逅

モンゴルはこの100年の間に大きく変貌しました。過去と現代を写真で対比して展示することで、20世紀の100年を通じたモンゴルの近代化や都市化の実態が可視化されるでしょう。 近代化は、世界中のどの国や地域も経験してきたプロジェクトだといえます。本展示では、モンゴルにとって近代化とは何だったのか、写真を通じ出逢っていきます。

■ 新たなモンゴル像――都市世界との出会い

一般的にモンゴルと言えば、「遊牧民」「モンゴル相撲」「大草原」といったイメージが強く、都市の世界についてはあまり知られてきませんでした。しかし現在、遊牧民の人口はもはや9%に過ぎず、むしろ首都ウランバートルに総人口の約半分(160万人)が集中しています。本展示では、現代のドキュメンタリー写真家がグローバル都市ウランバートルの光と影を写し出します。一方で、100年前のウランバートル、かつて外国人からウルガや庫倫(クーロン)と呼ばれた宗教都市フレーの魅力的な姿を、欧米の探検家たちのまなざしを通して写し出します。

■ 他者と自己のまなざしの邂逅

100年前と現代の写真の撮影者の視座は大きく異なります。100年前の写真の撮影者はロシアや西欧からモンゴルを目指した探検家です。一方、現代の写真は国際的に活躍するモンゴルのドキュメンタリー写真家です。本展示では、時空を超えた探検家という他者の写真とモンゴル人自身の写真が邂逅することで、他者表象と自己表象の違いを視覚的に考察することができます。

資料点数 標本資料 約 45 点 写真資料 約 730 点



草原の若者たち(1909 年) S・パルシ撮影 フィンランド文化遺産庁民俗学画像コレク ション ©The Finnish Heritage Agency



チョコ・ナイトクラブ(2017 年) B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor

展示構成

イントロダクション

第1部 時を超えて邂逅する都市 ウルガとウランバートル

- 1-1. ボグド・ハーンの聖なる都ウルガ
- 1-2. グローバル都市ウランバートルの素顔

第2部 変貌する草原 100年前と現代の遊牧

- 2-1. 探検家たちがまなざしたモンゴル高原
- 2-2. 社会主義と近代化
- 2-3. 遊牧民の今



ドキュメンタリー写真家 B.インジナーシ(1989~)

B.インジナーシは、モンゴルにおけるドキュメンタリー写真の若き旗手である。 大学在学中から写真家集団ガンマ・エージェンシーに参加。2016年、ニューヨークのマグナム財団のフェローシップを獲得後、国際的な注目を浴びるようになった。彼の作品は、ナショナルジオグラフィックにタイム、そしてワシントンポストといったメディアで取り上げられている。2021年、オランダのクラウス王配財団が主催する芸術賞 PRINCE CLAUS SEED AWARDS を受賞。



©Injinaash, Bor

【新型コロナウイルス感染症に関するみんぱくの主な取り組みのご紹介】 ※事前のオンライン予約でのご来館を推奨しています。

- ※本館では安心してご来館いただくための取り組みをおこなっています。
- スタッフは、マスクを必ず着用します。
- ・館内各所に手指用のアルコール消毒液を設置しています。
- ・館内の換気の強化をおこなっています。



その他の取り組み等はこちら

https://www.minpaku.ac.jp/aboutus/covid 19 torikumi/kanran

関連イベント

※各イベントの申込み方法や詳細につきましては、みんぱくホームページをご確認ください。

※この他にもさまざまなイベントを予定しております。

みんぱくゼミナール

「ドキュメンタリー写真家 B. インジナーシが見た現代モンゴル」

会 場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)

※オンライン(ライブ配信)でもご参加いただけます。

日 時 5月21日(土) 13:30~15:00 (13:00 開場)

講 師 B.インジナーシ(写真家)

港千尋(写真家、多摩美術大学 教授)

川瀬慈(国立民族学博物館 准教授)

司 会 島村一平(国立民族学博物館 准教授)

定 員 160 名(会場参加)、300 名(オンライン参加)

参加方法 要事前申込/先着順/参加無料

内 容 本ゼミナールではモンゴル人ドキュメンタリー写真家 B.

インジナーシと研究者たちとの座談会をおこないます。 写真で自己表象することの意味や他者表象との違い

などを考えます。



身長測定 2016年、B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



みんぱく映画会

「ヒップホップから見た現代モンゴル社会――映画『モンゴリアン・ブリング』から考える」

会 みんぱくインテリジェントホール(講堂)

※オンライン(ライブ配信)でもご参加いただけます。

B 時 3月21日(月·祝)13:30~16:20(13:00 開場)

「モンゴリアン・ブリング」2012年(日本語字幕あり) 上映作品

座談会 B・ビンクス(上映作品監督・オンライン登壇)

ジェニー(ラッパー・オンライン登壇)

ハンガー(ラッパー)

川瀬慈(国立民族学博物館 准教授)

司 会 島村一平(国立民族学博物館 准教授)

定 員 160 名(会:

容

内

要事前申请 参加方法

展示観覧券

申込受付終了 会場参加は要 モンゴルのヒップホップをテーマにしたドキュメンタリー映



女性ラッパー、Gennie ©Flying Fish Films & Binks Inc

画「モンゴリアン・ブリング」(2012年オーストラリア映画 B・ビンクス監督)を上映すると同時に監督や出演者が国 境を越えた座談会をおこないます。この映画は、モンゴル の都市社会の厳しい現実と若者文化をありのままに描き 出したドキュメンタリー作品です。モンゴル経済が急速に 発展する一方で、人びとは貧富の格差や環境問題にあ えいでいます。そうした社会背景の下でたくましく生きるラ ッパーたちを描き出しています。

「大地の静脈 [Veins of the World]]

みんぱくインテリジェントホール(講堂) 会 場

※オンライン(ライブ配信)はございません。

B 肼 5月5日(木·祝) 13:30~16:00(13:00 開場)

上映作品 「Veins of the World」2020 年(日本語字幕あり)

説 小長谷有紀(国立民族学博物館 客員教授) 解

会 島村一平(国立民族学博物館 准教授) 司

定 員 160 名(会場参加)

要事前申込/先着順/参加無料(要展示観覧券) 参加方法

モンゴル国平原部で暮らす少年アムラーは遊牧生活を送 内 容 っています。父は機械工として働き、母は自家製チーズを 地元の市場で売って現金収入を得ています。平穏なはず の日常が、金鉱を採掘する鉱山会社によって脅かされて

いきます。グローバルイッシューの普遍性とローカルな文 化的特性の分かちがたい結びつきを描いた映画です。



樹木に青い絹を結んで祈る 2020年、映画監督ビャムバスレン ©Tarek Tabet



研究公演

「口承文芸から現代詩、そしてヒップホップへ――モンゴルの韻踏み文化」

会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)

※オンライン(ライブ配信)でもご参加いただけます。

日 時 未定

4月9日(土)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期。

日程が決まり次第みんぱくHP でご案内します。

出 演 D.ソソルバラム(俳優)

DESANT (ラッパー)

NMN(ラッパー)

馬頭琴楽団「イヒ・タトラガ」

司 会 島村一平(国立民族学博物館 准教授)

定 員 160 名(会場参加)、300 名(オンライン参加)

参加方法 要事前申込/先着順/参加無料(ただし会場参加は要

展示観覧券)

内 容 モンゴルの韻踏み文化は、遊牧民の口承文芸に始まり、 現代詩やヒップホップのリリック(歌詞)へと変化を遂げな がらも受け継がれています。本公演では、詩の朗読で著 名な俳優ソソルバラム氏およびヒップホップのラッパーに 実際に演じてもらうことで、韻踏み文化の伝統と近代化や

現代における変容を考察していきます。



ロ承文芸の語り手のグラフティ 2021 年、B. インジナーシ撮影 ®Injinaash. Bor

ワークショップ

「モンゴルのぼうしをつくってみよう」

会 場 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)

国立民族学博物館 特別展示場

日 時 5月3日(火·祝)、4日(水·祝)

各日 13:00~15:40

講 師 島村一平(国立民族学博物館 准教授)ほか

定員 各回10名

参加費 各回 300 円(大学生・一般の参加者は要特別展示観覧券)

対 象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴で参加のこと)

参加方法 要事前申込/先着順

内 容 モンゴルの人びとにとって「ぼうし」はとても大切なものです。

100 年前のモンゴルの人が身に着けていたぼうしを展示場で観察したら、毛糸や画用紙でかざったオリジナルのモンゴルぼうしをつくりましょう。



友の会講演会

第523回友の会講演会「モンゴルとSDGs」

日 時 4月2日(土) 13:30~15:00(13:00 開場)

講 師 小長谷有紀(国立民族学博物館 客員教授)

山極壽一(総合地球環境学研究所 所長)

聴講方法 ① みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員 160 名)

② オンライン(ライブ配信)(定員 300 名)

参加方法 要事前申込/先着順/友の会会員:無料、一般:500円(資料代、会場参加のみ)

友の会ホームページ内、第523回友の会講演会受付フォームより予約

https://www.senri-f.or.jp/523tomo/

※一般受付は3月1日(火)より開始予定。友の会会員は先行予約期間あり。

内 容 持続可能でよりよい世界を目指す国際指標SDGs。17の目標の達成には環境問題の解決が大

きく影響します。自然・人文・社会科学の総合的な視点で環境問題をとらえる総合地球環境学研究所(地球研)が設立されて約20年。地球規模の環境問題は解決に向かっているのでしょう

か。地球研の取り組みについてうかがいながら、モンゴルを例に考えてみましょう。

お問い合わせ 国立民族学博物館友の会(千里文化財団)

06-6877-8893

みんぱくウィークエンド・サロン——研究者と話そう

研究者が展示や研究についてお話しします。

「モンゴルの"民族衣装"の 100 年前と今」

会 場 国立民族学博物館 第5セミナー室(本館2階)

日 時 4月10日(日) 14:30~15:30 (14:00 開場)

話 者 島村一平(国立民族学博物館 准教授)

定 員 42 名

参加方法 申込不要/先着順/要展示観覧券

内 容 素朴なモンゴルの"民族衣装"デールは実は「人民服」だった?! 現代のモンゴルの衣装は、煌びやかな 100 年前の衣装に負けないくらい進化を遂げている?! このサロンでは、写真とともにモンゴル衣装の 100 年を見ていきます。そこでは今までのモンゴル像とは異なる、新たなモンゴルの姿に出逢えることでしょう。



トルゴ社のアヴァンギャルド・デール 2015 年、ウランバートル市 島村一平撮影



開催概要

展覧会名 日本・モンゴル外交関係樹立 50 周年記念特別展

「邂逅する写真たち――モンゴルの 100 年前と今」

会 場 国立民族学博物館 特別展示館

会 期 2022年3月17日(木)~5月31日(火)

開館時間 10:00~17:00 (入館は 16:30 まで)

休 館 日 水曜日(ただし、5月4日(水)は開館、6日(金)は休館)

観 覧 料 一般 880 円 (600 円) 大学生 450 円 (250 円) 高校生以下無料

※本館展示もご覧いただけます。

*()内は、20 名以上の団体、大学等(短大・大学・大学院・専修学校の専門課程)の授業でご利用の方、3ヵ月以内の リピーター、満65 歳以上の方の割引料金(要証明書等)。

*障害者手帳をお持ちの方は、付添者 1 名とともに、無料で観覧できます。

主 催 国立民族学博物館

協 賛 在徳島モンゴル国名誉領事館

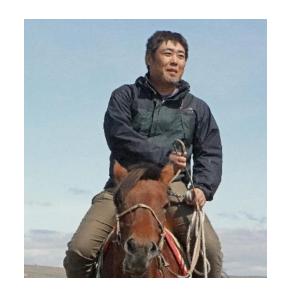
協 カ 国際モンゴル学会、モンゴル科学アカデミー、モンゴル国立公文書館、チンギス・ハーン博物館、ボグド・ハーン宮殿博物館、ザナバザル美術館、HIS Mongolia、ロシア地理学協会、ロシア民族誌博物館、オーブルチェフ記念キャフタ地方伝承博物館、ロシア科学アカデミー・ピョートル大帝記念人類学民族学博物館(クンストカメラ)、ロシア科学アカデミー物質文化史研究所、アメリカ議会図書館、アメリカ自然史博物館、オスロ大学文化史博物館、ウプサラ大学図書館、フィンランド文化遺産庁、デンマーク国立博物館、フランス・オー・ド・セーヌ県立アルベール・カーン美術館、ポーランド科学アカデミー、国立大学法人鳥取大学 乾燥地研究センター、国立大学法人鳥取大学 国際乾燥地研究教育機構、総合地球環境学研究所、千里文化財団

後 援 モンゴル国大統領府、駐日モンゴル国大使館、在大阪モンゴル国総領事館、日本モンゴル文 化経済交流協会

実行委員長 島村一平(国立民族学博物館 准教授)

文化人類学・モンゴル研究専攻。博士(文学)。

1969年愛媛県生まれ、兵庫県西宮市育ち。1993年早稲田大学法学部を卒業後、ドキュメンタリー番組制作会社に就職。取材で訪れたモンゴルに魅了され制作会社を退社、モンゴルへ留学する。1998年モンゴル国立大学大学院修士課程修了。2003年総合研究大学院大学博士後期課程単位取得退学。国立民族学博物館機関研究員・滋賀県立大学人間文化学部准教授を経て現職。2011年ケンブリッジ大学社会人類学部客員研究員。2013年度日本学術振興会賞、地域研究コンソーシアム賞、2014年度大同生命地域研究奨励賞をそれぞれ受賞。近著に『憑依と抵抗:現代モンゴルにおける宗教とナショナリズム』(晶文社、2022年)、『ヒップホップ・モンゴリア:韻がつむぐ人類学』(青土社、2021年)など。著書・論文多数。



Press Release



実行委員

小長谷有紀 日本学術振興会 監事、国立民族学博物館 客員教授

 飯田卓
 国立民族学博物館 教授

 川瀬慈
 国立民族学博物館 准教授

 寺村裕史
 国立民族学博物館 准教授

 井上治
 島根県立大学 教授

 滝沢克彦
 長崎大学 教授

堀田あゆみ 立命館大学 RCS 客員研究員

楊海英 静岡大学 教授

[お問い合わせ] 国立民族学博物館 総務課 広報・IR係 Tel:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイト www. minpaku. ac. jp/press

日本・モンゴル外交関係樹立 50 周年記念特別展 「邂逅する写真たち――モンゴルの 100 年前と今」 広報用画像リスト



【1】特別展チラシ



【2-1】特別展イメージ画像 (会期、会場、開館時間、休館日、観覧料記載有り)



【2-2】特別展イメージ画像 (会期、会場、開館時間、休館日、観覧料記載有り)



【2-3】特別展イメージ画像 (会期、開館時間、休館日、観覧料記載有り)



【2-4】特別展イメージ画像 (会期記載有り)



【3】ある少女/2016 年/ B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



【4】ウルガの女性(部分)/1909 年/S. パルシ撮影/ フィンランド文化遺産庁民俗学画像コレクション ©The Finnish Heritage Agency



【5】チョコ・ナイトクラブ/2017 年/ B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



【6】草原の若者たち/1909 年/S. パルシ撮影/ フィンランド文化遺産庁民俗学画像コレクション ©The Finnish Heritage Agency



【7】地下のアングラ・バーにて/2017 年/ B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



【8】野菜売る中国人とモンゴル人女性の客/1914年ごろ/ チチャエフ氏のアルバムより From the Album of I. Chichaev



【9】一生懸命に勉強する子どもたち/2017 年/B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



【10】ウルガの警備兵たち/1913 年/O. マーメン撮影 オスロ大学文化史博物館蔵
©The Museum of Cultural History, University of Oslo



【11】シャングリラ・モールにて/2021 年/ B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor



【12】我が家で自転車に乗るロブサンジャンツァン/ 1913 年ごろ/

O. マーメン撮影 オスロ大学文化史博物館蔵
©The Museum of Cultural History, University of Oslo



【13】身長測定/2016 年/ B. インジナーシ撮影 ©Injinaash, Bor

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報・IR係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。

【3】~【13】の写真(画像)は、可能であれば、過去(4、6、8、10、12)と現代(3、5、7、9、11、13)を対にしてご紹介 ください。対にする写真はご自由にお選びいただいて結構です。

(クレジットの省略について)

【1】、【2】の画像について、クレジットは画像内に記載しておりますので、別途のご記載不要です。そのままご使用ください。 【3】、【5】、【7】、【9】【11】、【13】の画像について、「◎Injinaash,Bor」の記載があれば、「B. インジナーシ撮影」は省略可。 【4】、【6】の画像について、「◎The Finnish Heritage Agency」の記載があれば、「フィンランド文化遺産庁民俗学画像コレクション」は省略可。

【8】の画像について、「From the Album of I. Chichaev」の記載があれば、「チチャエフ氏のアルバムより」は省略可。 【10】、【12】の画像について、「©The Museum of Cultural History, University of Oslo」の記載があれば、「オスロ大学文化 史博物館蔵」は省略可。



日本・モンゴル外交関係樹立 50 周年記念特別展 「邂逅する写真たち——モンゴルの 100 年前と今」 広報用画像利用申込用紙

【ご希望の画像番号】					
【 背	【貴社・貴機関について】				
	貴社・貴機関名		媒体名		
	ご担当者名		所属部署		
	所在地 〒				
	電話番号		メール		
	ご掲載・放映の予定日	年	月	Ħ	
【プレゼント用招待券】(ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください) □ 3組6枚 □ 5組10枚 ※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。					
	発送先 〒				
	申込先】 ィール koho@minpaku.ac.jp または	FAX 0	6-6875-0401		

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。

【お問い合わせ・送付先】

国立民族学博物館 総務課広報係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 TEL:06-6878-8560 (直通) FAX:06-6875-0401 メール:koho@minpaku.ac.jp